

## 福岡大学病院

研修医 池内 伸光 2017年9月

福岡大学病院の初期臨床研修プログラムの一環として、2017年9月の1か月間、地域医療研修として出水総合医療センターを中心に野田診療所、高尾野診療所、出水保健センター、上場診療所で研修をさせて頂きました、研修医2年目の池内伸光と申します。

私は福岡市出身ではありますが、出身大学が鹿児島大学であり、また昨年度研修された先生に勧められたこともあり、出水市での研修プログラムを選択しました。出水市は何度か車で通過したことはありましたが、じっくりと腰を据えるのは初めてでした。初日に鹿児島市にもあるスーパーを見つけて懐かしく感じたのを覚えています。

野田診療所では内村先生から頸部・心臓・腹部のエコーを御指導頂きながら施行し、上部消化管内視鏡の操作もさせて頂きました。月曜日を除く平日は訪問診療に赴き、通院が困難な方々が多くいらっしゃることや、ADL低下に伴って不衛生な生活環境となり、なんとか社会資源を利用して生活できているといった状況も目の当たりにしました。野田診療所では一次救急も経験し、検査が出来ない状況での問診や身体診察、転院・転送の判断の重要性を学びました。高尾野診療所では西元寺先生、長谷川先生に御指導頂きながら初めての外来診療を経験しました。午前中に20名強の外来をこなすには病態把握や問診の時間は最低限となり、戸惑いがありました。そのような状況でも先生方は4週間に1度しか来院されない患者さんの家庭環境まで把握されており、慢性疾患の外来フォローを継続するには綿密なコミュニケーションが不可欠であると痛感しました。

上場診療所では宗清先生に御指導頂きながら、検査だけでなく搬送手段も限られる僻地医療の実際を体感し、十分な医療を提供することの難しさを学びました。地域保健の一環として出水保健センターでの研修では、保健師さんが複数人で多角的に母子を見つめて対応を協議する姿が印象的でした。

出水総合医療センターでの院内研修では循環器内科を中心に、薬剤部、臨床工学科、臨床検査科、看護部(回復期病棟)、リハビリテーション技術科、医療安全管理室、地域医療連携室で研修させて頂きました。循環器内科では楠元先生、則松先生に御指導頂き、また福岡大学の桑野先生や西川先生にもお世話になり、心不全増悪や心房細動で入院されている症例や、心臓カテーテル検査・治療も経験できました。また多職種連携として院内の様々な職種の方々から御指導頂き、普段見ることのない仕事の実際を学び、今後医師として関わっていく上での重要な知見を得られたと思います。

最後になりましたが、お忙しい中多くの時間を割いて丁寧にご指導くださった皆様方に御礼申し上げます。大学病院では遭遇しない様々な体験ができて大変有意義な研修となりました。ありがとうございました。